記者発表資料

平成２９年８月１日
東北地方整備局
山形河川国道事務所

東北中央自動車道（東根～尾花沢）の開通見通しについて

国土交通省が整備を進めている東北中央自動車道（東根～尾花沢）延長23kmのうち、「東根IC～(仮)東根北IC」間の延長4.3kmについて、工事の進捗状況を踏まえた結果、平成30年度までに開通する見通しとなりました。

～東北中央自動車道（東根～尾花沢）の開通による整備効果～

■地域産業の活性化を支援

■インバウンド観光振興を支援

■地域救急医療活動の支援

◎今回の公表より、国土交通省と東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）で整備を進めてきた東北中央自動車道の福島市から新庄市までの約140kmのうち、約125km（約９割）について、平成30年度までの開通見通しが確定したことになります。

＜発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙＞

問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所　電話番号　023-688-8421（代表）

副所長（道路）　千葉　富彦（内線205）

（事業に関すること）

工務第二課長　高橋　朋昭（内線411）

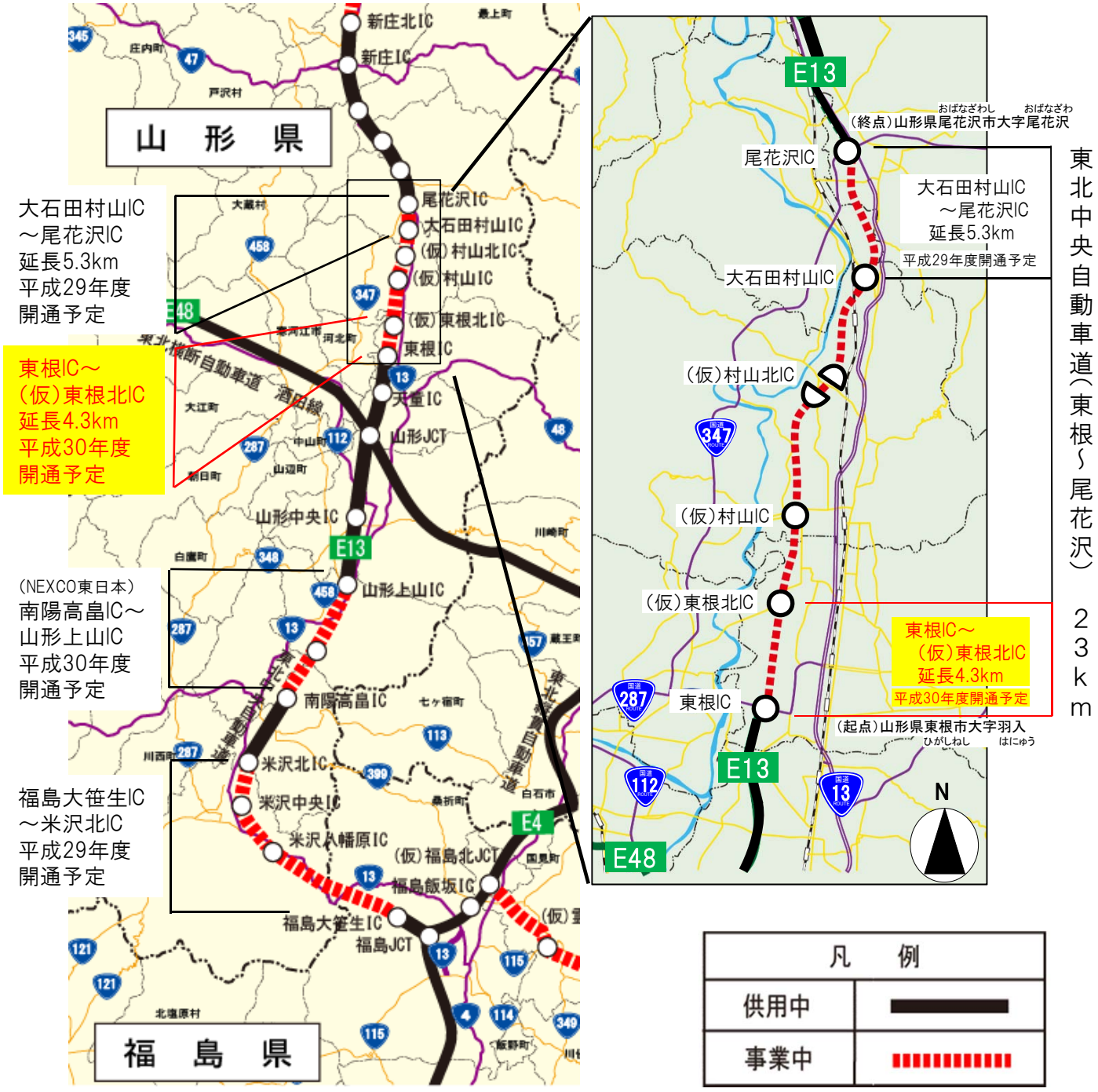
（整備効果に関すること）

調査第二課長　河本　直志（内線451）

別　添

東北中央自動車道（東根～尾花沢）の開通見通しについて

＜位置図＞



地域産業の活性化を支援

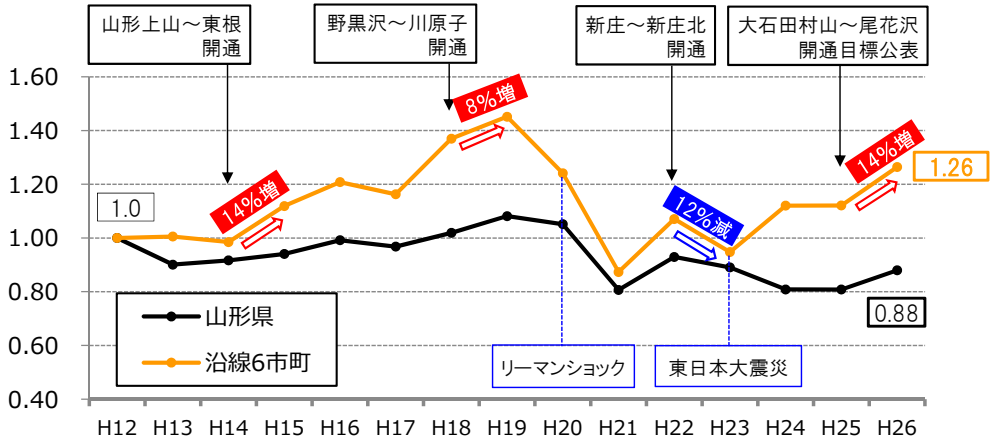
国土交通省

○ 東北中央自動車道の開通等に伴い沿線自治体の製造品出荷額等は増加傾向
○ 東根～尾花沢の整備により、新たな企業立地の進展や商圏の拡大が図られ、地域産業の活性化を支援



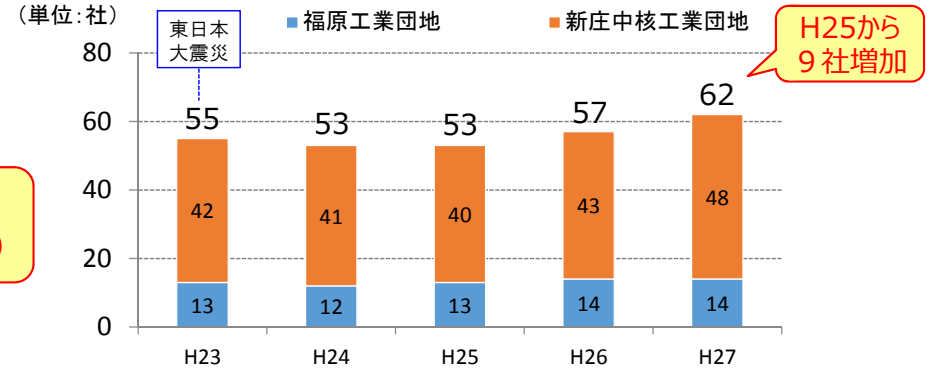
■ 製造品出荷額等の推移

※H12を1.0とした場合の伸び率



※沿線6市町（東根市、村山市、大石田町、尾花沢市、舟形町、新庄市の合計）
※山形県（山形県内全市町村の合計）
資料：工業統計

■ 新庄中核工業団地と福原工業団地の立地企業数の推移



資料：新庄市商工観光課，尾花沢市商工観光課

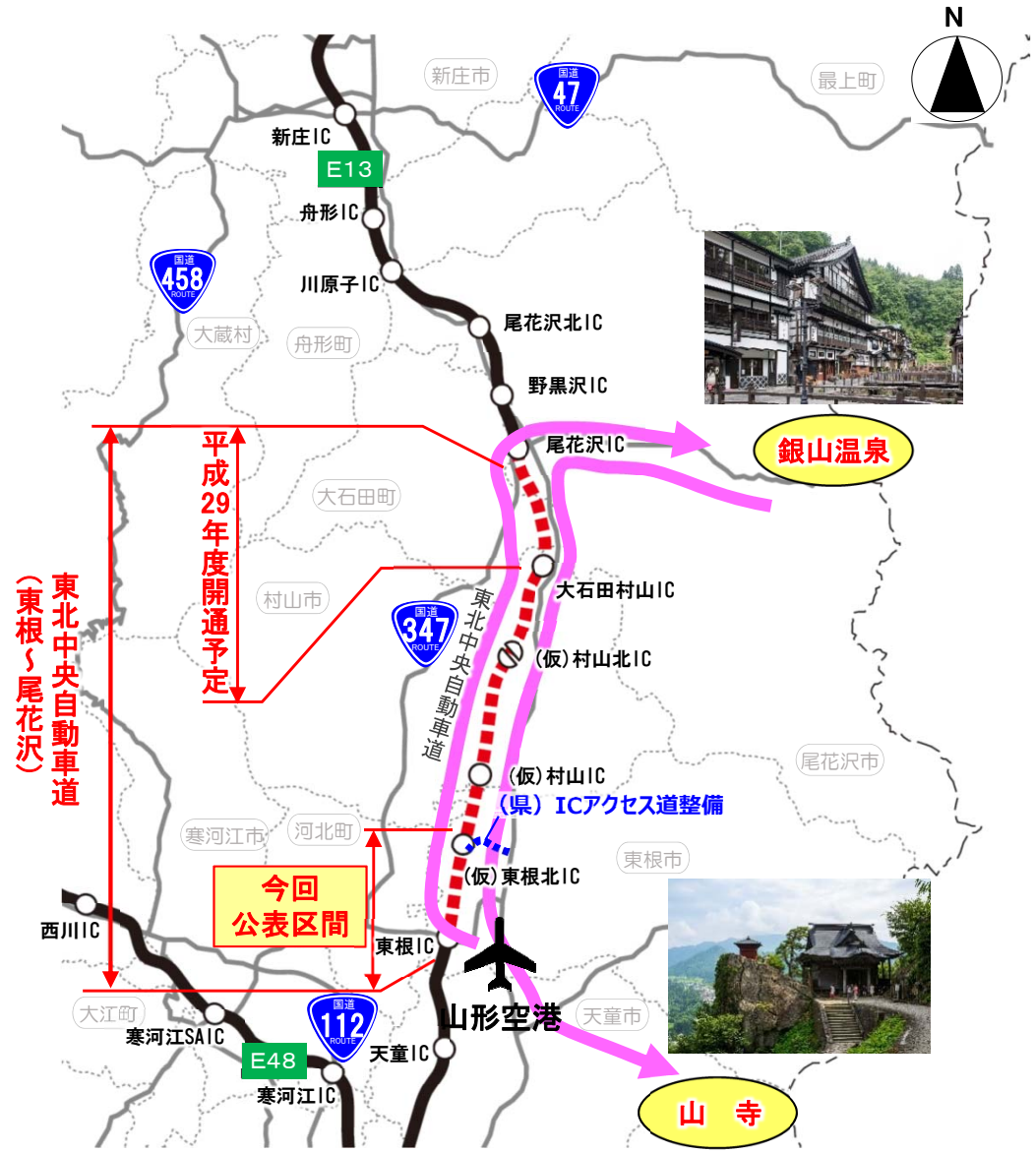
■ 沿線立地企業の声

- 1日の出荷回数を2回から3回の頻度で輸送が可能となった。（精密機械加工業）
- 今後の高速道路の整備による商圏拡大や生産規模拡大に期待。（ウレタン製品加工業）

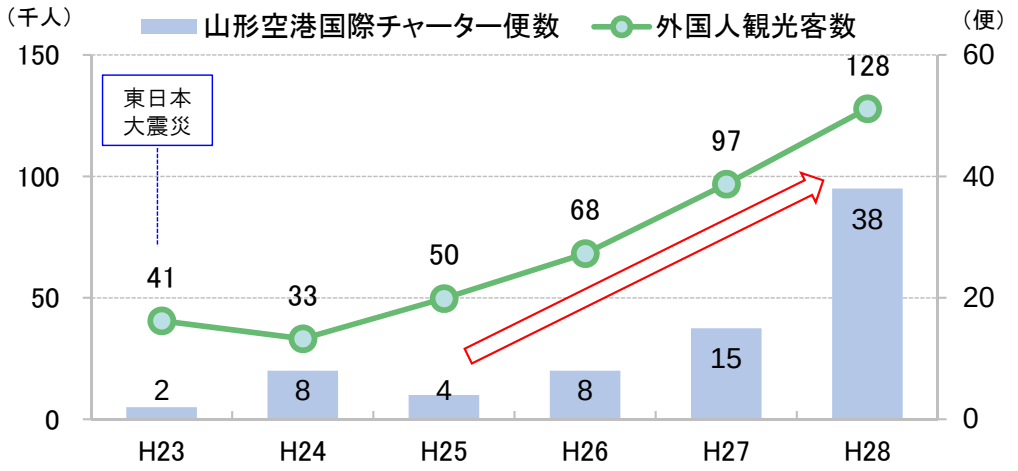
インバウンド観光振興を支援

国土交通省

○山形県では、外国人観光客数および山形空港の国際チャーター便が増加傾向
○東根～尾花沢の整備により、山形空港から観光地への移動時間短縮が図られ、滞在時間の延長等による観光消費額の増など、観光振興を支援

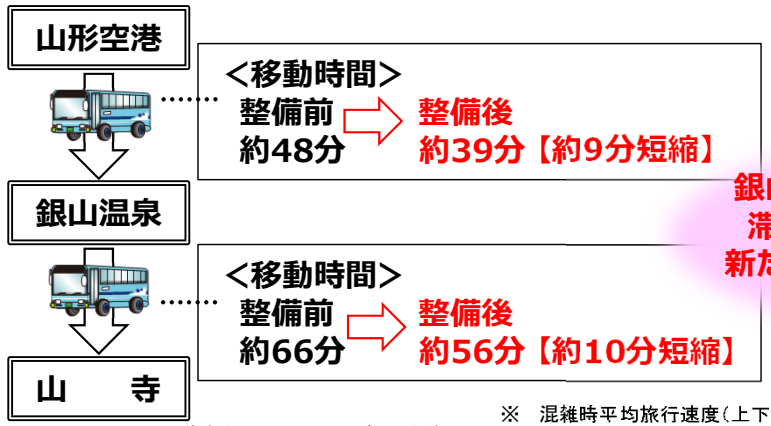


■ 山形空港国際チャーター便と山形県の年別外国人観光客数の推移



出典：山形県への聞き取り調査・外国人旅行者県内受入実績調査（山形県）

■ 台湾発-山形空港着のチャーター便による観光ツアーの実例



※台湾の旅行会社では、10～11月に、山形空港のチャーター便を利用した観光ツアーを6件設定

銀山温泉や山寺での滞在時間の延長や新たな観光ルート形成に期待

※ H22道路交通センサスのデータを使用
※ 混雑時平均旅行速度（上下平均）より算出
※ 東根～尾花沢間は80km/hで設定

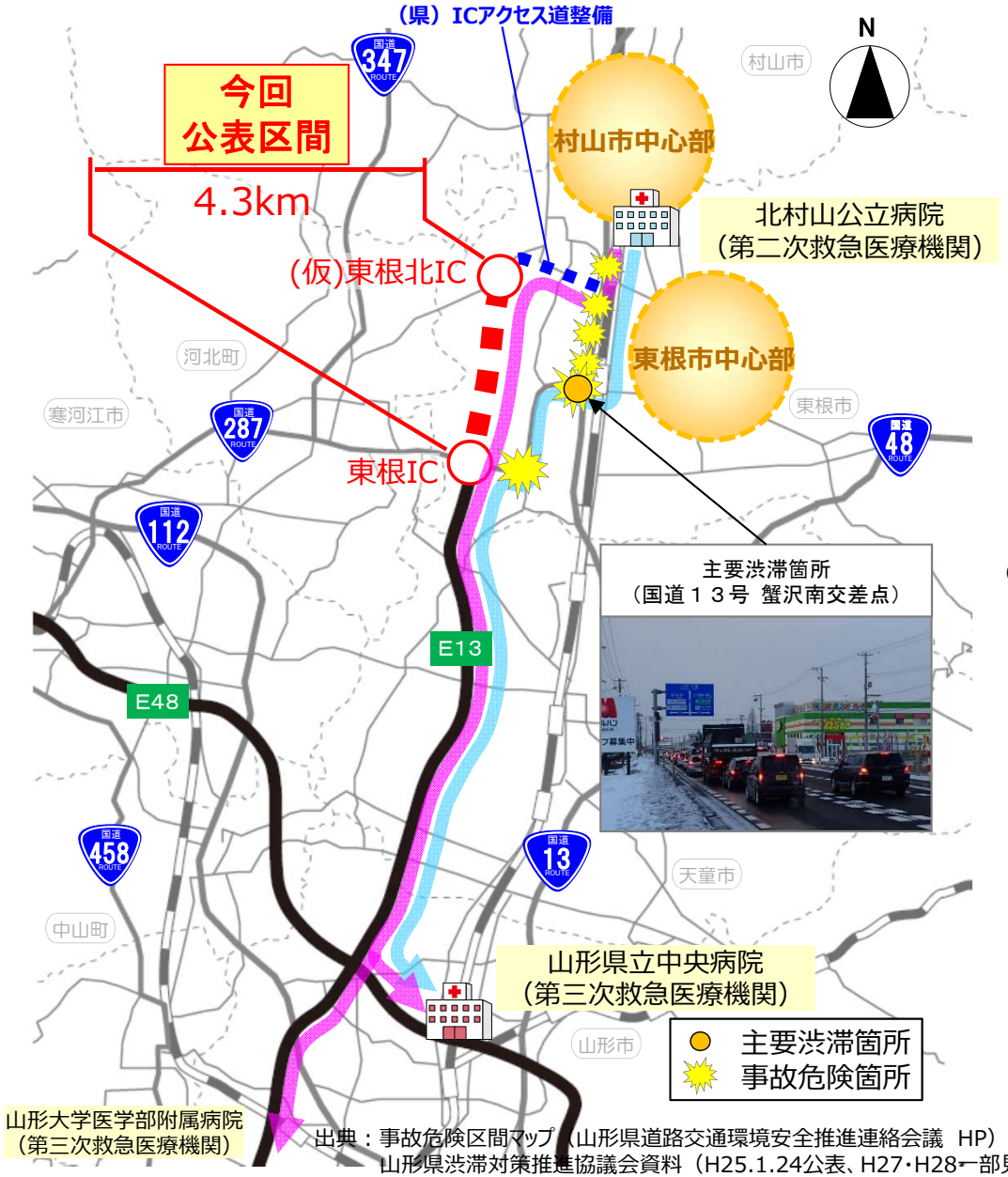
■ 銀山温泉観光案内所の声

●滞在時間の延長に伴い、温泉街の散策エリアの拡大や、立ち寄り店舗数の増加による地産品購入増が期待される。

地域救急医療活動の支援

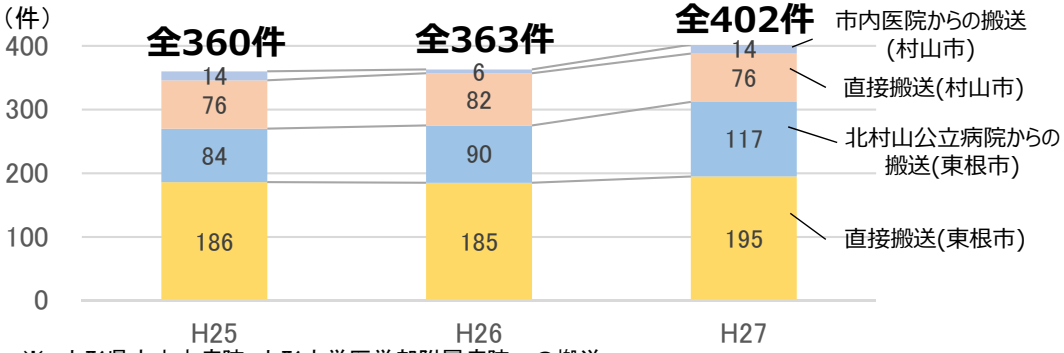
国土交通省

○東根市・村山市では、多くの重篤患者を山形市内の第三次救急医療機関へ搬送
○東根～東根北の開通により、主要渋滞箇所や事故危険箇所を回避し、迅速かつ安定的な搬送を支援



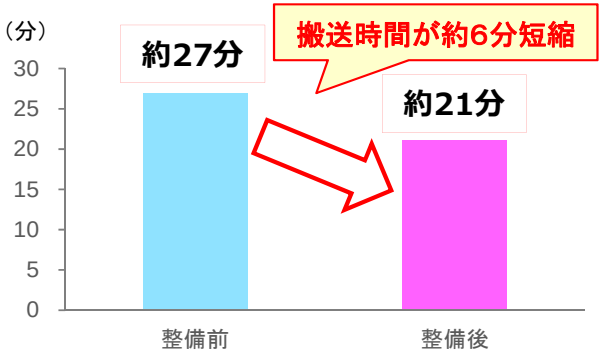
出典：事故危険区間マップ（山形県道路交通環境安全推進連絡会議　HP）
山形県渋滞対策推進協議会資料（H25.1.24公表、H27・H28一部見直し）

■ 山形市内第三次救急医療機関への搬送件数

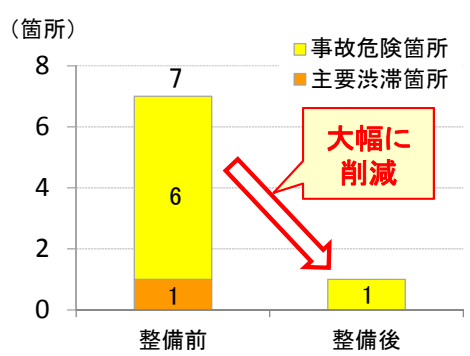


※　山形県立中央病院・山形大学医学部附属病院への搬送
出典：東根市消防本部、村山市消防本部への聞き取り調査

■ 東北中央道（東根～東根北）整備前後の救急搬送の変化（北村山公立病院から山形県立中央病院）



▲ 救急搬送時間



▲ 救急搬送道路の課題箇所数

※　H22道路交通センサスのデータを使用
※　昼間12時間平均旅行速度（上下平均）より算出
※　東根～東根北間は80km/h，ICアクセス道は60km/hで設定

■ 東根市消防本部の声

●北村山公立病院から山形県立中央病院への搬送の際に、時間短縮とともに信号交差点でのブレーキを踏む回数が減り、傷病者への負担軽減が期待される。